

「軍事研究」に対する本学の基本方針

広島市は、「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、人類史上最初の原子爆弾による被爆体験を原点に核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきた。こうした広島市や広島市民のたゆまぬ努力により、今日、ヒロシマは、世界の人々から「平和の象徴」、「希望の象徴」として認められ、このことは広島市民の大きな誇りとなっている。

そうした使命や背景を持つ広島市が、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念として本学を設立し、そして本学は、この基本理念の下、今日まで教育研究にまい進してきた。

その本学が「軍事研究」に関わることは、建学の基本理念に、また、これまで本学の教育研究に携わってきた多くの人々の努力に反するとともに、広島市の都市像や使命、広島市民や世界の人々の平和への思いにも反するものである。

こうした基本的な考え方の下、広島市立大学は、以下の教育研究には携わらないものとする。

- 1 軍事への寄与を目的とした研究をはじめ、建学の基本理念にある「世界平和」への貢献に反する教育研究
- 2 国内外の公的機関、企業、研究機関等の軍事又はデュアル・ユース（軍民両用が可能な技術）を目的とした資金等を受けての研究

平成 29 年 3 月 23 日
広島市立大学学長